

党市議団が天守閣木造復元シンポ（2017年12月16日）

## まだ止められる 2022年名古屋城天守閣木造化



日本共産党名古屋市議団は2017年12月16日、市内でシンポジウム「まだ止められる2022年名古屋城天守閣木造化」を開きました。

### 木造化を急ぐより現状改善を

元大阪城天守閣館長の渡辺武氏が講演し、「鉄筋鉄骨コンクリートの大阪城は1997年の耐震・老朽化補強であと100年は大丈夫。名古屋城天守閣も木造化を急ぐより現状改善をすべき」と強調しました。

ジャーナリストの毛利和雄氏は、全国に約50ある鉄筋鉄骨コンクリート天守の状況や文化庁の方針を説明し、「今天守閣を木造化しても、江戸時代建設の姫路城などと違いレプリカにすぎない」と述べました。一級建築士の滝井幹夫氏は「木造復元は建築法、消防法、バリアフリー法などとの問題がある」と指摘。江上博之市議は「市民合意のないまま550億円の大型事業が進められようとしている。2019年4月の市議選で日本共産党の議席増を実現して方針変更を」と訴えました。

参加者との活発な議論が続きました（右コラム参照）。

### はっきりしない！木造化

- ・「石垣に天守閣の負荷はかからない」と市は言ってきたが、石垣調査の結果分かったことは？
- ・バリアフリーの観点からはエレベーターは必須では？
- ・現在市が計画しているチェアリフトは、階段の幅の半分を占領。市の見積もりでは、単純計算で一日1万人以上（年366万人）も来場するが混雑しない？特に土日祝日や災害時は？
- ・年366万人来場による入場料で建築費を賄うというが、数字の根拠は？入場料で賄えなかったらどうするの？
- ・そんなに人が来て安全性は？江戸時代の建物にはバリアフリーや耐震性の概念はない。完全な木造再現と現状の安全基準は相容れないのでは？
- ・城内の博物館施設をどうやって残すの？
- ・情報発信のための学芸員がもっと必要では？
- ・市のアンケートによると、2022年の木造化賛成は2割に過ぎない。市民の多くは市長提案に賛成していないのに進めるの？
- ・大阪城のようにまずは耐震化・老朽化補強したら？

市も天守閣説明会・シンポ開催（1月）

## 市民意見の集中を

名古屋市は1月、市内5カ所での「市民向け説明会」と、鯉城ホール（中区栄）での市長出席の「シンポジウム」を行います。市民の意見を伝える機会ですので、皆さまぜひお誘い合わせの上ご参加下さい。

### 1、「市民向け説明会」（日・場所・時間・人数）

1月16日（火）	西文化小劇場		当日先着300人
1月18日（木）	港文化小劇場	18時30分～20時00分	当日先着300人
1月19日（金）	北文化小劇場	（開場18時）	当日先着250人
1月23日（火）	名東文化小劇場		当日先着300人
1月24日（水）	南文化小劇場		当日先着350人

内容…市・竹中工務店からの説明、質疑応答

### 2、「シンポジウム」（日・場所・時間・人数）

1月28日（日）	鯉城ホール	10時00分～12時30分 （開場9時45分）	当日先着600人
----------	-------	----------------------------	----------

内容…講演会、市・竹中工務店からの説明、質疑応答、河村市長からの総括